

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号 (0174300467), 法人名 (医療法人社団 信診連), 事業所名 (グループホームあつたか家), 所在地 (北海道川上郡弟子屈町鈴蘭1丁目8番1号), 自己評価作成日 (令和2年9月13日), 評価結果市町村受理日 (令和2年12月3日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人の特性を活かした各専門分野の連携があります。法人理事長(主治医)の毎日の訪問による健康チェック、同法人看護師の訪問による定期採血・健康相談・患部の治療、同法人作業療法士によるリハビリ体操を2週/1回実施し、健康管理が充実しています。地域に密着した医療法人であることで、ご家族の安心感と主治医への信頼関係の構築により、ホームで最期を迎えたい。(看取り介護)最後まで、自分らしく生きてほしいと考えるご家族様と状況報告行っております。季節の行事や地域での社会参加に町民文化祭やお祭りなど可能な限り継続しており、更なるご家族との交流と地域との連携を深めております。町内別の場所にある同法人のグループホームの入居者との交流や職員との連携によって活動内容に幅ができ、合同での取り組みも増えており、お互いが活性化されております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL (https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_khn=true&JigyosyoCd=0174300467-00&ServiceCd=320)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和2年10月20日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所「あつたか家」は町の中心部に近い静かな住宅街にあり、国道等の主要幹線がすぐ近くを走り、JR摩周駅も徒歩圏内で、スーパーやホームセンターにも恵まれ、生活の利便性に長けた環境下に立地している。母体は町内で古くから地域医療を担ってきた医療法人で、地域の要望にこたえる形で2004年に開設、医療やグループホーム、デイ、居宅事業所、ヘルパー派遣、訪問看護等を展開しており、連携が取れた医療と介護の総合的な視野で地域を担っている。1ユニット9人の高齢者が住む建物は塙をめぐらしたお屋敷を改造しており、平屋だが大がかりな造りで、敷地内も広く家庭菜園も可能で、散歩や外気浴、花々の栽培等々、自宅の庭として有効的に活用されている。当事業所の優秀な点は、第一に医療機関との連携を挙げたい。母体である弟子屈クリニックでは、ほぼ毎日院長が回診、見まわっていく事が日課であり、体調への些細な疑問も心配も瞬時に解消され、緊急時や重篤時でも24時間オンコールで駆けつけ、医療判断と治療を施す体制で臨んでおり、法人の作業療法士による定期的なリハビリや看護師の定期健診、各種健康相談と併せ、利用者や家族だけでなく介護員にも強い信頼感を与えている。また日々の外出も多彩で、近隣の名所旧跡から遠出による桜や紅葉のドライブ、買い物や外食等も天候と相談して随時実施している。当事業所「あつたか家」の1ユニット9人という少人数を活かした様々な取り組みを高く評価し、今後の活動に注目したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes and user satisfaction levels.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づいたケアプランを作成し、援助を実施しながら理念を理解できているかを確認している。ケアプランの見直しにも、必ず理念に沿っているかを重視し作成・援助に取り組んでおります。	運営理念を利用者や家族、職員等の関係者に見えるように事業所内に掲示している。また会議や申し送り時にも気が付いた点を話し合い、新人職員の研修時にも、事業所の基本姿勢として習得するよう伝えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の活動・行事などに出来る限りの参加を努力している。地域の催しにも継続して参加し、近所を散歩する機会を作っております。	開設以降16年余が経過し、地域の一員としてカラオケの会に加入したり、幼稚園児と集ったり、それぞれに活動し、行事にも参加している。散歩の途中に話し込んだり、花を貰ったりと日常的な交流が続いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の学生の福祉体験やの受け入れを行っております。また、町民文化祭への参加にも努めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの取り組みや職員の資質向上(教育内容・研修報告等)、入居者・職員の課題などを議題に報告・話し合い新しい情報の提供をさせていただいております。	運営推進会議は2ヶ月毎に定期的開催され、町の福祉課、地域の民生委員、社会福祉協議会等々の参加で、行事内容から事故、ヒヤリハットの報告まで行い、サービスの向上に繋げている。	運営推進会議の特性上、参加と公開は不可欠と思われ、また事業所の理解促進においても、運営推進会議の議事録については行政等の関係機関のみならず、利用者家族宅まで配布し、更なる理解となるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険係や地域包括支援係との密な連携により、課題の解決や取組みに対する協力関係が構築されている。運営推進会議には、必ず町職員が参加されております。	運営推進会議や実施指導等、担当部局とは顔見知りで懇意な関係が維持されている。制度の解釈・運用についての説明や情報交換も日頃から行われており、特に実施指導は毎年おこなわれ、適切な指導により信頼性の高い関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜間のみ防犯対策として施錠している。ベッドから転落の危険性がある入居者等やむを得ない場合は、家族へ説明し書面に了承を得た上で、離床センサーやサイドレールを設置している。身体的拘束会議を実施し、経過観察、記録を行っております。	身体拘束廃止委員会で適正化に向けた指針を作成し、介護の基本に据えている。また3ヶ月ごとに定期開催して現状を点検し、また事例の検討も重ね、内容は直近の会議で職員に徹底周知して、虐待も拘束も無縁な介護に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	適時 高齢者虐待防止等の研修会参加後、勉強会等を開催し職員に周知し防止に努めている。職員のメンタルヘルスクエアにも留意するようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会の職員と定期的にお会いする機会があり、後見人制度について相談できる関係を整えられています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、十分に説明し理解を得られています。不明な点などは随時説明する対応を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者へは日頃の会話の中から情報を収集し、家族へは面会時に苦情・相談しやすい雰囲気作りを心掛け明るく迎え入れ、近況報告もその都度行っております。	利用料は事業所に持参で支払いを受けており、その際に家族から意見や苦情を聞き取っている。玄関に意見箱を設置し、どのような意見にも門戸を開いている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は常に職員とのコミュニケーションに留意し会議等で個々の意見を聞き入れ、法人の管理会議で代表者へ伝えるようセンター長に引継ぎをしております。	職員会議や引継ぎ、申し送りの機会に意見や提案を受けており、また法人職員との個別面談も必要に応じて設定し、忌憚のない意見交換で職員の資質向上、サービスの向上に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は毎日ホームを訪れ職員とのコミュニケーションを図っており、給与・労働条件の改定や福利厚生の見直しに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部での研修へ随時参加できる機会を設け、法人内でも勉強会を実施しており、日々の業務の中でも指導を行っています。必要時には法人内の他事業所での実習も行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北海道認知症グループホーム協会に加盟しており情報交換・交流に努め、主催の研修参加に努めています。また、他の施設の方との交流行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	入居前に他事業所からの情報を基に、ご本人・ご家族からアセスメントを取り、入居後には、日々のケアの中で情報を共有し馴染みの関係づくりに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との面談を随時設けて、要望等の確認をしております。家族に対する支援も重要視する体制に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時は、ニーズを見極め対応策をご本人、ご家族と共に検討し、必要時には他のサービスの説明も行い話し合いが出来るよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	運営理念に沿った援助を実践することが支え合う関係に繋がり、同じ時を過しながら「与える・そして与えられる」信頼関係作りを継続していけるよう心掛けております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族へご本人の状況を常時報告し連絡しあい情報の共有に努めております。また、面会時や誕生日会への参加で、良い関係作りを心掛けております。(コロナ禍により規制有)		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人知人の来訪で、ご本人と過ごす時間を大切にしております。また、外出・外泊も積極的に支援し、インフォーマルな援助ができる体制づくりを心がけております。	顔馴染みの人の訪問は、ゆっくり過ごせるよう配慮し、墓参り等は家族と協力しあい支援しており、昔馴染みの関係性が閉ざされない、途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々に役割を分担し共同作業が出来るよう心掛けております。レクリエーション等でもお互いの相性等を踏まえて配置の検討と興味を示してくれる内容に留意し、楽しみをもっといただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて法人代表者(主治医)が定期的に往診・受診をすることで、ご本人・ご家族との関係性は継続出来ております。また、相談等も聞き受け出来る体制を伝えております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や表情の中から本人の思いを把握するよう努めているが意思疎通が上手くできない方には、職員が困惑してしまうため見守り観察をすることで意向を確認しております。	毎日の生活の支援の中から、意向や希望、思いや願い、好き嫌い等を汲み取り、職員間でカンファレンス等により共有しながら、また意向の把握が困難な状態では生活歴や家族からの聴取で、本人本位の生活となるように臨んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネージャーからの情報提供とご本人やご家族から情報を聞き、ご本人の日常生活からも読みとるように努力しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの毎日のアセスメントシートの記録と毎月の会議で、現状の把握と確認をしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の視点での意向を介護計画に反映するため、ケアマネを中心として3ヶ月ごと会議にて計画を見直しております。安全確認については、随時確認し、課題として検討しております。	3ヶ月ごとにモニタリング等を集約し、家族の意向を踏まえ、医療的見地も参照し、カンファレンスを重ねて1年から6ヶ月で介護計画を実施している。また病気での変更等が生じた場合は、直ぐに対応変更し、常に現状に即した計画になるよう、取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿った援助を実行し日々のアセスメントに記録しております。また、定期的にモニタリングし会議で検討しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人特性の多職種を活かし、別のグループホームやデイケア・クリニック・訪問サービスなどを活用できる環境にあり、ボランティアセンター等のインフォーマルなサービスとの連携も構築出来ております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事前の警察への相談、地域消防団との合同消防訓練、ボランティアの受入れなど地域資源の協力を得ております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の毎日の訪問による体調チェックや必要時に家族との面談、緊急時・急性期治療や専門医との連携で速やかな対応を図っております。	かかりつけ医は全員が母体法人のクリニックとなっており、毎日主治医が様子を見に来ている。法人の作業療法士によるリハビリも定期に実施し、看護師の相談も随時受け付けて、安心できる医療体制で日々臨んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当法人の医療機関より適時看護師が訪問し利用者の状態を把握しております。また職員の相談にも随時指導を受けております。他医療機関との連携にも協力されております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当法人の医師・看護師が情報提供を行い、入退院時には家族・管理者が担当者との情報交換を行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアについてのご本人・ご家族の意向を書面にて確認し、状態の変化に応じて随時家族・医師・センター長・管理者との話し合いにて方針を共有しております。	ターミナルケアの指針を契約時に説明し、本人や家族が望まれるなら最後まで寄り添う旨を伝え同意を得ている。終末期の医療が必要となった際は家族と主治医と事業所とで話し合い、適切な方法手段を共有し、チームで対応できる様、日頃から研修等で取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は救命救急講習を受講しており、定期的マニュアルの確認を行っております。医療との緊急時の連携も直ぐに対応出来るよう構築されております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署・地域消防団との避難訓練を適時行っており、その状況を地域の方々や運営推進会議の構成員も把握していただいております。	年に2回の避難訓練を消防署の指導により地域の消防団の協力を得ながら実施している。備蓄食料や非常用の石油ストーブも完備し、不意の災害に備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとりひとりの尊厳を守る事を理念に掲げており、その人らしさを大切にしていけることを心がけております。	接遇は介護の要であり、プライバシーの確保や人格の尊重を旨として介護に臨み、研修や会議でも礼を忘れないようにと話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の立場に立って考え、自己決定出来るような工夫をしているが決定できない場合には答えやすい声かけを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り、ご本人の希望に沿った対応が出来るように希望を聞き入れ、その方その方のペースに合わせております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思を尊重し、さり気なく着こなし、整容を援助しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の能力に合わせ作業を分担し職員と共に調理・片付け・食事を楽しむことが出来るよう心掛けております。	地域密着の基本に沿って、食材や調味料等は地元のスーパーや商店で購入している。また利用者にもお手伝いをお願いし、職員も同じ食事を食べながら、楽しい食卓になるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期採血により栄養状態を把握し看護師よりアドバイスを受け、必要時には栄養士と相談しながら栄養バランスに留意した献立を考え工夫しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを徹底し、協力歯科医院に必要時には検診を受けております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おむつ等使用の利用者も、夜間以外はトイレを使用しております。尿・便意が無い場合も定期的な誘導を働きかけ「脱おむつ」を目標に目指しております。	排泄はトイレで行うことを基本として、時間での誘導や、排泄サインや仕草を見落とさず、自然な排泄となるように、食べ物にも気を配り、排泄の自立に向け「脱おむつ」に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	健康管理表により排泄状況を把握しており、水分摂取、適度な運動、毎日の乳製品の摂取、トイレに座るを取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日・時間はホームで決めさせてもらっているが、本人の意向を確認して対応しております。入浴日以外にも陰部清拭を毎朝実施し、清潔保持に努めております。	週に3回お湯を満たして入浴に取り組んでおり、それ以外も清拭や足浴等も必要に応じて実施し、また拒否者には無理強いすることなく、時間や介護員に変化をつけ、楽しいお風呂になるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活リズムに配慮しつつ、適度な運動や休息を促し、ご本人のペースで休息をいただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報で処方された薬を把握しており、症状の変化など随時 医師・看護師と相談出来ております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の生活歴や日常の様子から能力を把握し、発揮できる場を検討し役割分担に配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	社会参加を心がけ外出支援しております。また身内や知人との外出・外泊も積極的に協力をしていく体制にあります。自治会の行事や地域の行事にも外出することに努めております。	桜等の花見や紅葉見学等のドライブの他、気軽な散歩を日常的に楽しんでおり、地域内でのお祭りや、幼稚園の運動会、お遊戯の発表会等の機会に積極的に外出に取り組み、また敷地内の庭で時間をつぶしたり、花をめでたりと閉じこもらない介護に徹している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金を所持して使用する機会が無い状況にあります。しかし、ご本人・ご家族の希望によって施設で管理しているお金を使用できる体制にしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族へ適時の電話支援をしております。遠方の家族には適時連絡を貰えるように協力を促しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって心地よいと思われる音楽(童謡・クラシック等)を流し、大きな騒音(声・物音)をたてないように注意しております。季節を感じられるホーム内の装飾類の工夫と手作業での作品を飾り楽しんでもらえるよう努めております。	古い家屋、お屋敷を改造しており、居間兼食堂は広く開放的で観葉植物も置かれて、温度や湿度も適性に保たれている。また季節感のある飾りつけや生花もみられ、居心地重視の工夫がみられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	オール内でも長椅子に座ったり横になったり、また、畳のスペースに座るなど自由に過ごせる環境整備を図っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具類は馴染みの物を持ち込むよう働きかけ、ご家族の写真を飾ったり、手作業品を飾ったり居心地良い環境作りを心がけております。しかし、不穏になる方には配慮した環境にしております。	居室には、昔馴染みの家財や小物類がそれぞれの思うままの配置で置かれており、落ち着いた雰囲気を感じられ、ゆっくりと過ごせるよう工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人の能力を把握し、安全を考えながらできることの見守り援助により自立した生活を送れるよう工夫しております。		